

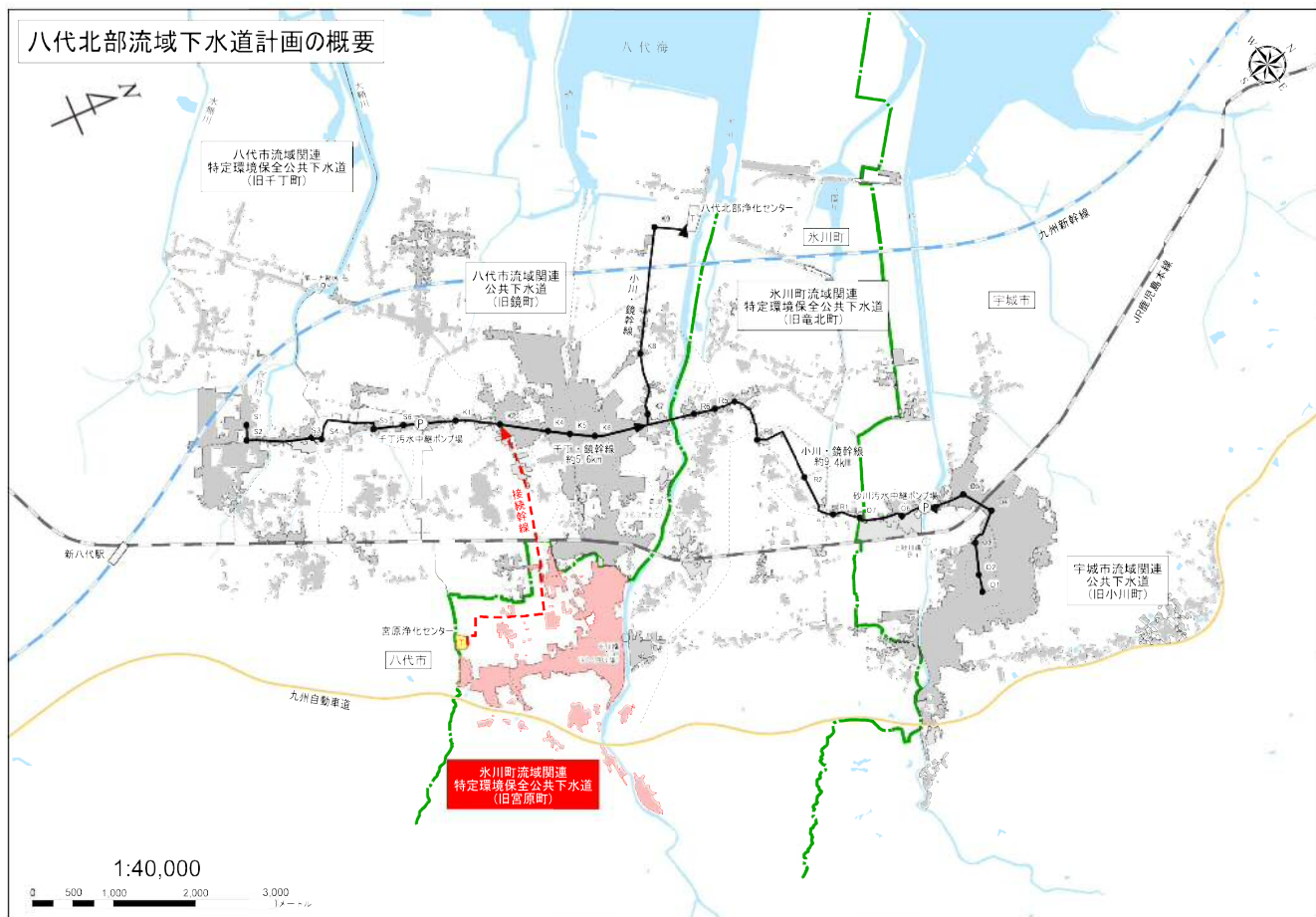
八代北部流域下水道

八代平野北部に位置する本計画区域は、八代海に面しており、江戸時代から干拓事業が行われ、全国でも有数のい草の生産地帯です。また、八代海は、周囲を宇土半島や天草諸島に囲まれ、多くの景勝地や好漁場にも恵まれています。

しかし、近年の生活様式の多様化や都市化に伴い、八代海をはじめとする公共用水域の水質汚濁が進行している状況にあったため、平成7年度から4町(現八代市、宇城市、氷川町)にわたる1,130haを対象に事業に着手し、平成14年1月に4町全てにおいて一部供用を開始しました。平成29年度には、処理区域の変更に伴う全体計画の見直しを行い、区域を1,308.5haに拡大しました。

また、本流域下水道の根幹的施設である八代浄化センターの運転管理については、(財)熊本県下水道公社に委託していましたが、平成18年度から指定管理者制度による運転管理を行っています。

八代北部流域下水道概要図



処理区名	八代北部	総事業費(流域)(億円)	178
処理場名	八代北部浄化センター	処理場位置	八代市鏡町芝口地内
全体計画処理人口(人)	30,900	全体計画事業期間	平成7年～平成47年
全体計画処理面積(ha)	1,308.5	排除方式	分流式
全体計画汚水量(m ³ /日最大)	11,385	供用開始時期	平成14年1月
全体計画処理能力(m ³ /日最大)	13,600	水処理方式	標準活性汚泥法
幹線管渠延長(km)	18.7	放流先	氷川
処理場敷地面積(ha)	4.2	環境基準	A-Ⅰ
供用開始処理人口(人)※	28,703	処理能力(m ³ /日最大)※	13,600
供用開始処理面積(ha)※	876.0	日平均流入水量(m ³ /日)※	6,607
関連市町村	八代市(旧鏡町、旧千丁町)、宇城市(旧小川町)、氷川町(旧竜北町、旧宮原町)		

※H28年度末データ